

紙の扉の小さな劇場

太田 歩

多人数相手の読み聞かせの選本で私が重視するのは言葉の心地よさだ。リズム感があって、読み手も聞き手も乗れること。会場で後ろの方で見えづらそうにしている子どもの耳にも、子どもを前に座らせて一番後ろで見守り体制に入っている保護者の方の耳にも届いて、どんな条件の席にいても会場全体で楽しめるように読みたいと思っている。

昨年10月、弘前図書館で開催された「小学生に贈るおはなし」に読み聞かせサークル・テラーズからの読み手として初参加させて頂いた。読んだのは『オニのサラリーマン じごくのしんにゅうしゃいん』。関西訛りの言葉がコミカルで、やりたい放題の新入才二たちと亡者たちの様子が楽しい。愉快なじごくの様子は子どもたちに好評

で、それが「職場」の様子であるためか、大人たちの反応もよかった。

絵本は絵を見せるものでもあるので、なるべく大きい絵のものを選ぶようにも配慮する。しかし絵本そのものはそういった読み方を想定して作られていないので、残念だけれど見えづらさはある程度諦めるときもある。その代わり、聞き手が借りられるように図書館で本を選び、自分で持っているものはあまり使わない。

「小学生に贈るおはなし」でも見えづらい部分があり、機軸席にいる子どもたちに近寄って見てもらった。ひとりの子に「ちよつと待って！」と言われてあるページに留まっていた見せたりもしたが、全体の集中が切れることもなかったもので、気に入ってもらえたのではないかと思う。あのあと、あの本が借りてもらえていたらうれしい。

本当は読み聞かせは小さい空間であるのが一番良いと思う。読み手1人に対して理想的な聞き手は1〜2人程度ではないだろうか。一緒に絵本を覗き込み、おはなしを聞きながら、気になるページに留まり、廻り、飛ばし、即座に再演を迫る。世界一わがままな観客の前で行われる、世界一小さな劇場。

私自身、図書館や幼稚園での読み聞かせより、母の読み聞かせの記憶の方がずっと濃い。太田家の中でロングランヒットとなったのは『おだんごばん』（ロシア民話、絵・脇田和、訳・瀬田貞二）で、母は楽譜もないのに即興で節をつけてくれて、私

も妹もそれをいっしょに歌いながら絵本を聞いた。物心つく前の私はその歌を歌いながら遊んでいたらしい。絵本は私と母を繋ぐ、コミュニケーションツールのひとつだった。

母が読んでくれた作品の中には、多人数の読み聞かせに向かないだろう作品もあった。『あけるな』（作・谷川俊太郎、絵・安野光雅）はその中のひとつだ。物語らしい物語がなく、人物も描かれず、不思議な世界と「あけるな」と書かれた扉が続く様子に独特の怖さを感じた。しかし、わからないさと怖さの間に「わかりたい気持ち」が灯る。何度も向き合って考えるうちに、自分なりの設定や物語が浮かんで消える…不思議な絵本。母が読んでくれなかったら、私はこの本と出会わなかっただろう。

きっと私の読み聞かせは、それぞれの家の小さな劇場には敵わない。けれど、その劇場に至る道を拓く時間になればいいと思う。今年は地域の子どもたちと一緒にいくつかの紙の扉を開けるか、楽しんだ。

（読み聞かせサークル・テラーズ メンバー、演劇ユニット一揆の星副代表）



「小学生に贈るおはなし」で読み聞かせをする筆者



● イベント実施報告 11月～1月 ●

〔弘前図書館〕12月21日

クリスマスおはなし会

クリスマスにぴったりのお話をプレゼント！

今年は大雪の悪天候の中、27名の参加がありました。当日はスペシャルゲストとしてたか丸くんが遊びに来て、おはなし会を盛り上げてくれました！



おはなしのるんの皆さんとたか丸くん

おはなし会が始まると、語り手の「おはなしのるん」の皆さんが、冬やクリスマスのお話を絵本や変わり絵、パネルシアター、エプロンシアターなど、様々な技法で読み聞かせをしてくださり、「次は何のおはなしかな？」と子どもたちが保護者と顔を見合わせて、ワクワクしている様子が微笑ましく感じました。終了後のアンケートでは、「面白かった！」、「楽しい時間を過ごせました！」などというコメントが多く、参加されたご家族にとって素敵な時間になったようです。

〔岩木図書館〕11月24日

図書館まつり

みんなでおはなしの世界へ！

11月23日・24日に岩木文化祭が開催され、両日とも天候に恵まれたこともあり、図書館にも

多くの方が来館されました。今年「図書館まつり」として、読み聞かせボランティア「テラーズ」の皆さんによるメエメエさんおはなし会を、24日に午前・午後合わせて二回行いました。普段とは違う曜日・時間帯に行ったおはなし会でしたが、18名の参加がありました。初めて参加する方や家族連れも多く、おはなし会が始まると絵本の読み聞かせや手遊び、パネルシアターやエプロンシアターなど、バラエティに富んだ内容に子どもたちは目を輝かせて聞き入っていました。参加者それぞれがおはなしの世界を楽しんだようでした。



おはなし会の様子

〔岩木図書館〕12月14日

おはなしクリスマス会

「メリークリスマス！」

12月14日に岩木公民館大和室で「おはなしクリスマス会」を行いました。当日は雪の降る中にもかかわらず、5組22名が参加してくださいました。おはなし会では、読み聞かせボランティア「テラーズ」の皆さんによる、大型絵本の読み聞かせやパネルシアター、スケッチブック



クシアター、エプロンシアターなど、様々な趣向を凝らしたクリスマスに関する物語が用意され、皆さんゆったりとした空間の中でおはなしの世界を楽しんでいました。最後は全員で「あわてんぼうのサンタクロース」を歌い、参加された方にはプレゼントをお渡しし、和やかな雰囲気にも包まれておはなし会は終了しました。



おはなしクリスマス会の様子

〔岩木図書館〕1月25日

ぬいぐるみのおとまり会 in 岩木図書館

図書館のお仕事がんばったよ！

今年で7年目となる「ぬいぐるみのおとまり会」を開催しました。参加申込が早々に定員に達する、岩木図書館では人気のイベントの一つです。参加した子どもたちは、お気に入りのぬいぐるみと一緒に「おはなし」を聞きました。ぬいぐるみが出てくる大型絵本や、着ぐるみが出てくるおはなしなど、皆さん楽しんでいました。おはなし会の後、ぬいぐるみたちは図書館にお泊りです。書庫を探検したり、図書館のお仕事をしたり、お菓子やご飯を



みんなでそりにのったよ！

みんな楽しんでいました。おはなし会の後、ぬいぐるみたちは図書館にお泊りです。書庫を探検したり、図書館のお仕事をしたり、お菓子やご飯を



食べたりに…。後日、お迎えに来てくれた子どもたちには、ぬいぐるみが図書館で過ごした様子の写真を記念アルバムにしてプレゼントしました。受け取った子どもたちには笑顔がみられ、楽しい思い出になったようでした。

〈絵本の森〉12月15日

パパとじいじとえほんあそび

読み聞かせは素敵な贈り物

今年は雪が降る足元の悪い中、2組のご家族が参加してくださいました。最初は講師の高嶋さんから、男性が子どもと一緒に絵本を読むメリットなどについて、分かりやすい説明がありました。そして実際に絵本を開きながら、赤ちゃんや幼児期々学童期におすすめの本を10冊以上紹介してくださいました。その後はスタッフが館内を案内して本の配置を紹介し、高嶋さんが絵本『パパトラ』と、手遊び歌絵本『りんごごろごろ』の読み聞かせをして、イベントは楽しく終了しました。参加者からは「楽しかったです。来てよかった」とのお声をいただき、お帰りの際には沢山の本が借りられました。

〈絵本の森〉12月20日～1月15日

冬休みおはなしクイズラリー

おしごとコーナーは大盛況!!

今年のクイズラリーのテーマは「どんなおしごとがすき?」です。館内にはラーメン屋・消防署・花屋・アイドルステージ・美容院が並び

ます。隠されたクイズを探し出し、絵本をヒントにクイズに取組む子どもたちは真剣そのもの。また、おしごとコーナーでは、屋台で出来立てのラーメンを振る舞ったり、エプロンをしており、消防車に乗ってビルの火を消したり…と楽



気分は美容師さん!



クイズラリーに参加する親子

しそうな姿が見られました。好きな仕事道具を使い、なりきって遊んだり写真を撮ったり、小学生はもちろん、よちよち歩きの小さなお子様にも人気でした。開催期間中は館内に元気な声が響き、賑やかな毎日となりました。ご参加ありがとうございました。

〈相馬ライブラリー〉11月28日～12月3日 ライブラリーで謎解きゲーム 呪われたライブラリー

相馬地区文化祭特別企画として昨年に引き続き、謎解きゲームを開催しました。今回はライブラリーにかけられた呪いを解くための呪具を当ててもらおう内容でご参加いただきました。難易度が5段階に設定された問題を、参加者が選択して挑戦したためか、ノーヒントで正解する方が多く、和気あいあいとした雰囲気の中、笑顔が多く見られました。特に親子で楽しむ参加

者が多かったようです。文化祭中の開催のため、普段はあまり図書館へ来ることがない方も、ゲームをしながら館内を周遊することで、施設に対する認知や理解を深めていただけたのではないかと思います。



謎解きゲームを楽しむ参加者

〈相馬ライブラリー〉12月19日～1月21日 本でしりとりラリー どこまでつながる?

冬休みの特別企画として、「本でしりとりラリー」を開催しました。お題の文字から始まるタイトルまたは著者の本を探して借りていただき、その末尾の文字が次のお題になるというルールで、次々とリレーされていく様子を楽しんでいただくという内容でした。大雪の影響か、冬休み期間中のライブラリーの来館者数が伸び悩んだため、参加者が予想より少なかったのは残念でした。参加してくれた親子が「本を探して借りるの面白いね」「このタイトルだとな」このタイトルだとな「このタイトルだとな」と話しながら本を選ぶ様子が印象的でした。参加者に差し上げた「ココからしおり」も「便利!使ってみます」と大変好評でした。



お題とココからしおり

「便利!使ってみます」と大変好評でした。



日本十進分類法 — 1類・2類



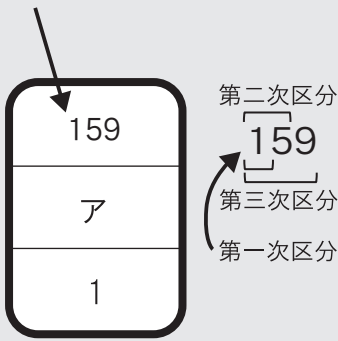
■日本十進分類法 (NDC) とは

日本のほとんどの図書館が、集めた資料を分類する基準にしているのが「日本十進分類法(以下、NDC)」です。本棚にはこの番号順に並べ

られているため、これを知っていると、大抵の図書館で目当ての本がどのあたりにあるか分かります。NDCは大まかに説明すると、まず資料を10に分類する第一次区分(背ラベルの数字の一番左)、その一次区分をさらに10に分類する第二次区分(背ラベルの数字の左から二番目まで)、それをさらに10に分類した第三次区分(背ラベルの数字三桁)で構成されます。

ですがこの数字がどんな本の分類を指しているか分からない…ということもあるでしょう。そこで、複数回に分けて、十進分類の第一次区分毎にどんな資料が分類されているかを紹介し

本の背表紙についている「背ラベル」。一番上の段がNDCの数字であり、この番号順に本が並んでいます。



ていきます。第二回の今回は、第一次区分における1類「哲学」と2類「歴史」について解説します。

■日本十進分類法 — 1類「哲学」

1類は、人間の精神界に関わる著作を収める分野です。大きく分けると哲学領域、心理学、倫理学と宗教に分かれます。哲学はさらに哲学各論・東洋思想・西洋哲学に分かれています。ちなみに、「東洋哲学」ではなく「東洋思想」となっているのは、誤植ではありません。宗教については、日本でも一般的な「神道」「仏教」「キリスト教」が個別に分類され、それ以外の宗教については、二次区分表の「16」にまとめられているというわけです。

ではここから、もう少し詳しく1類の第二次区分表(右下)を参照しながら、ここに分類される資料を紹介していきます。二次区分表まで知っているのと、本を探すのがぐっと楽になりますよ。

10…哲学全般。これ以降の分類に当てはまらない哲学分野の本がここに並ぶ。

11…哲学各論。形而上学や存在論等、哲学の

第2次区分表 (NDCの左から2番目まで)

10	哲学
11	哲学各論
12	東洋思想
13	西洋哲学
14	心理学
15	倫理学、 道德
16	宗教
17	神道
18	仏教
19	キリスト教、 ユダヤ教

主題になるものが分類される。

12…東洋思想。日本の国学や朱子学、水戸学や、中国の経学、諸子百家といったアジア圏の哲学が時代・地域別に分類される。

13…西洋哲学。ソクラテスやプラトンといった古代哲学や、ニーチェ、キルケゴールといった西洋圏の哲学が時代・地域別に分類される。

14…心理学に関する著作が分類される。一般的な心理学のほか、予言や心霊関連、占い等もここに分類される。

15…倫理学、道德。武士道や騎士道の本、人生訓や格言等も分類される。

16…宗教。宗教それ自体に関する本や、これ以降の宗教に分類されない宗教が入る。ギリ



シア、ローマ神話等もここ。

17：神道。神道に関する著作、神社・神職、祭祀に関する著作が分類される。

18：仏教。仏教思想や経典、寺院・僧職に関する著作、各宗派の著作等が分類される。

19：キリスト教、ユダヤ教。キリスト教・ユダヤ教の教義や聖書、教会に関する著作、各教派等の著作が分類される。

■日本十進分類法―2類「歴史」

2類は、大きく分けると「歴史」「伝記」「地理」に分けられます。「歴史」に関しては、現代史を含めて地域ごとに区分されており、日本↓アジア↓ヨーロッパ↓アフリカ↓北アメリカ↓南アメリカ↓オセアニアの順で並んでいます。ちなみに2類の棚で使われている地域の並び順（日本・世界とも）は、2類以外の地理区分が必要な場合でも、基本的に同じ並び順が適用されています（一部例外あり）。

「伝記」は、列伝、系譜・家史・皇室・個人伝で構成されます。伝記といっても、日記や書簡、語録等もこちらに分類されます。ただし、芸術家やスポーツ選手、哲学者や文学者（作家）等、諸芸に携わる者の伝記に関しては、それらの技能等と切っても切れない関係にあるため、それぞれ対応する主題に分類されます。例えばスポーツ選手の伝記は7類となります。

「地理」には、地理、地誌、紀行を分類しています。具体的に言うとな図や旅行に関する本、旅行記等が分類されます。ただし文学者による紀行文については、2類ではなく文学として扱って9類の方に分類されます。道路地図や世界地図等もこの分類ですが、住宅地図については、弘前図書館では閲覧室ではなく2階調査室で保管しています。

ではこちらも、2類の第二次区分表を見ながら、もう少し詳しく説明していきましょう。

20：歴史学全般。これ以降に分類されない資料や、地域が限定されていない世界史関連の資料等が分類される。

21：日本史。古代から時代順に並んでいる。地域の歴史等の資料も北海道から地域順に並んでいる。

22：アジア史、東洋史。朝鮮、中国や東南アジアといった、アジアの歴史書が分類される。

23：ヨーロッパ史、西洋史。ヨーロッパの国の歴史についての資料が分類される。

24：アフリカ史。エジプト史の資料が多い。

25：北アメリカ史。アメリカやカナダ、メキシコ史（マヤ文明・アステカ文明等）に関する資料が多い。

26：南アメリカ史。カリブ沿岸諸国やブラジル、アルゼンチン等の歴史資料が分類される。

27：オセアニア史、両極地方史。オーストラリアやニュージーランド史、北極南極地方の歴史資料が分類される。

28：伝記。個人伝記や家系図、家紋に関する資料も分類される。皇室・王室関連の資料もここ。

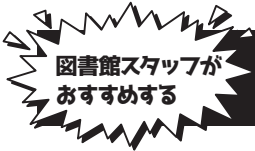
29：地理、地誌、紀行。地理に関する資料や旅行関連、紀行等が分類される。おなじみの旅行本を探すならこの辺り。

第2次区分表（NDCの左から2番目まで）

20	歴史、世界史、文化史
21	日本史
22	アジア史、東洋史
23	ヨーロッパ史、西洋史
24	アフリカ史
25	北アメリカ史
26	南アメリカ史
27	オセアニア史、両極地方史
28	伝記
29	地理、地誌、紀行

【参考図書】
『日本十進分類法 新訂10版1 本表・補助表編』
もり・きよし原編者 日本図書館協会 2014年
『NDCへの招待』蟹瀬智弘著 樹村房
2015年





BOOK REVIEW この本がおもしろい!

『かもめニッキ』
週末北欧部chika/著
講談社
2022年刊



フィンランドが大好きで12年以上通い続け、移住のために会社員の傍ら寿司職人の修業をし、ついに夢をかなえた著者。フィンランド移住に至るまでの寿司学校時代、お寿司屋さんでの修業、英語の勉強など、忙しくも学校の仲間や友人、家族と過ごしたあたたかい日々を描いた絵日記です。寿司学校でのテスト、フィンランドにまつわる交流など、興味深い内容も必読です。著者の日々の中に喜びを見つけた素直さに、ほっこりする一冊です。

『江戸でバイトやってみた。』
櫻庭由紀子/著
くろしまあきら/絵
技術評論社
2023年刊



令和の女子高生である七緒がタイムスリップし、江戸時代と現代を行き来しながらストーリーは進みます。七緒は、幕末の争乱手前の穏やかな江戸の町でお七と名乗り、口入屋から色々な仕事に出向き、事件に巻き込まれ、解決していきます。弘前藩の津軽屋敷が出てくるお話もあり、妙に親近感がわきます。ファンタジーなフィクションですが、その時代の文化や習慣などの紹介や説明も多く、江戸時代を体感してみたい方におすすめです。

『ことばのしっぽ「こどもの詩」50周年精選集』

読売新聞生活部/監修
中央公論新社
2017年刊



読売新聞家庭面「こどもの詩」コーナーの50周年を記念し、選りすぐりの200篇を収録した精選集です。詩の応募対象は中学生以下。小さなお子さんのものは、ご家族が代筆で応募されたそうです。子どもたちの可愛らしく、ちょっと切なく、時にドキッとさせられるような、そんなみずみずしい感性に触れているうちに、胸が熱くなりました。また、選者による愛とユーモアにあふれた短評には思わずクスッとさせられます。

『はだしのゲン 完全版』1~7巻

中沢啓治/著
金の星社
2019年~2020年刊



2023年度、広島市教育委員会は、小学校の平和学習教材として長年使用してきた『はだしのゲン』を削除しました。広島県内の教職員組合をはじめ、県外からも削除撤回の声があげられました。その急先鋒として教育委員会に申し入れをした、日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)が昨年ノーベル平和賞を受賞されました。今年は大平洋戦争終結から80年の節目の年です。この本を読んで、改めて平和について考えてみませんか？

『はじめての万年筆とインクの本』

mizutama/著
エクスナレッジ
2023年刊



万年筆って難しそう、高そう、手間がかかりそう…でも気になる!と思っている方、「インク沼」という言葉が気になる方に特におすすめするのがこの本です。今や万年筆は、手軽に千円以内からでも始められるようになりました。そんな万年筆とインクの始め方や知っておくべき基礎知識等を、豊富な写真で分かりやすく簡単に説明しています。ガラスペン・つけペンについても触れています。これを読んで、万年筆を始めませんか？

『世界のかげら図鑑』

古河郁/著
KADOKAWA
2024年刊



世界はどうやって作られているのか。その問いに答えるために、科学は生まれ、発展してきました。この本は、長い歴史の中で科学が発見してきた「世界のかげら」を集めた本です。「シユレディングの猫」「黄金比」「宇宙の大規模構造」など、さまざまなジャンルから74項目が並べられています。きれいなイラストと解りやすい文章で、理系が苦手な人にもオススメ。みなさんも、この本でお気に入りの「かげら」を探してみませんか。



雑誌スポンサー募集中



図書館の雑誌カバーに**広告**を掲載してみませんか？

雑誌スポンサー制度のご案内

スポンサーの業種や事業に関心のある
図書館利用者へ向け

**ダイレクトマーケティングが
可能です！**



雑誌スポンサー制度とは・・・



図書館の雑誌コーナーを充実させるために、雑誌の提供スポンサーになっていただき、代わりに雑誌最新号のカバーに広告を表示しPRできる制度です。
身近な地域貢献として、ぜひ図書館を応援してください。

スポンサーになれるのは？



企業・商店・団体などです。（個人は対象外）
ただし、図書館の雑誌スポンサーとしてふさわしくないと判断した場合は、お断りすることがあります。

スポンサーのメリットは？



弘前図書館では、年間30万人近くの来館者があり、図書館に置かさまざまな種類の雑誌の中から、その分野に関心のある方に直接PRができます。

スポンサーの費用は？



スポンサーとして選んでいただいた雑誌の代金をご負担いただきます。例えば、定価800円の雑誌であれば、年間9,600円となります。

－ 広告の表示方法について －

雑誌カバー

表面	裏面
雑誌スポンサー名 ※図書館作成	広告

- 選定された雑誌最新号の雑誌カバー表面に雑誌スポンサー名を、雑誌カバー裏面に雑誌スポンサーが作成した広告を掲出します。
- 広告掲出サイズは、雑誌カバーの大きさによる全2種類です。

広告サイズ大… 縦26cm×横18cm 以内

広告サイズ小… 縦21cm×横14cm 以内

お申込み・お問合せは、弘前図書館「雑誌スポンサー」係まで

雑誌スポンサー募集中



お知らせ・図書館イベント等の情報 3月

※都合により、変更になる場合がございます。

開催館・日時	イベント名	内容等
弘前図書館 3月15日(土) 13時~16時	弘前ライブラリーシネマ	【上映作品】『天使のいる図書館』 【定員】40名(先着順) 【申込】2月6日(木) 9時30分から 弘前図書館カウンターまたは電話で受付 ※定員に達したため受付は終了しました。

岩木図書館・こども絵本の森 蔵書点検に伴う臨時休館のお知らせ

蔵書の点検作業のため、下記の日程で休館させていただきます。

- ・こども絵本の森 3月4日(火)~3月6日(木)
- ・岩木図書館 3月10日(月)~3月17日(月)

※休館中も返却ポストはご利用可能です。

※弘前図書館、相馬ライブラリーは通常通り開館しております。

— ボランティア活動内容について —

- ・返却本を背ラベルの記号に従って書架へ返本。
- ・書架の整理。
- ・お客様をお探しの本の配架場所へご案内。
- ・お客様の質問内容によってはカウンターへご案内。

— 弘前市立図書館でボランティアとしての活動経験は —

閲覧室ボランティアは月二回行っていて、二〜三年目になります。

— 活動のおもしろさや楽しさ、やりがい —

様々なご返却本に接し、終生おそらくは未読に終わる内容を想い新鮮。お客様少ない折に、広範な分野の多様な書名に見入り、時にはチラ見し、狭小な日常視野からひとときにしても解放される快感は深大。感謝しております。ご返却本を配架しきれず担当終了時は申し訳無く心残り。

— おすすめの本を1冊教えてください —

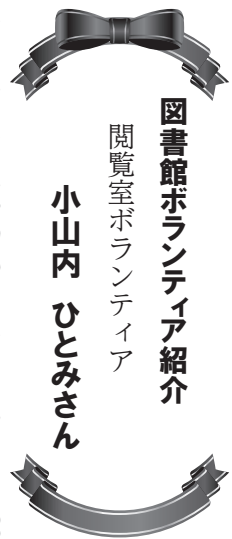
自分なりに随分思い廻りましたが、お借りした「ご本さん方」は皆さんそれぞれに楽しく読め、どなたかおひとりを選びませんでした。すみません!!

— 読者の方へメッセージ —

すみません。どう考えても366号の方のご記載が最高で、引用させていただきます!

(館報はと笛366号ボランティア紹介より引用)

多種多様な本・資料等が、図書館で皆様を待っています。小さい方も大きい方も、お気に入りの本等々を見つけにおいでください。



弘前図書館

開館時間
平日 9:30 ~ 19:00
土日祝 9:30 ~ 17:00
休館日 毎月第3木曜日
※その日が祝日の場合はその翌日
年末年始
蔵書点検期間
電話 32-3794

岩木図書館

開館時間
平日 9:30 ~ 19:00
土日祝 9:30 ~ 17:00
休館日 毎週月曜日
年末年始
蔵書点検期間
電話 82-1651

こども絵本の森

開館時間
10:00 ~ 18:00
休館日 毎月第3木曜日
※その日が祝日の場合はその翌日
蔵書点検期間
電話 35-0155

相馬ライブラリー

開館時間
9:30 ~ 17:00
休館日 毎週水曜日
年末年始
蔵書点検期間
電話 84-2316

※3月の弘前図書館・こども絵本の森の休館日は3月21日(金)です。(第3木曜日が祝日のため、その翌日が休館)

発行: 指定管理者 TRC・アップルウェブ・弘前ペンクラブ共同事業体

